かたつむり

第51号（2026年5月）

イラスト：牧 さやか

愛媛県自閉症協会

４月２日は国連の定めた「世界自閉症啓発デー」です。
４月２日～８日は厚生労働省が定める「発達障害啓発週間」です。
愛媛県では、県庁ドームをはじめ各市町でブルーライトアップが行われています。
また、松山市総合福祉センターロビーでは、中予地区で活動している保護者団体が毎年展示を行っています。

目　　次

◎はじめに……愛媛県自閉症協会　会長　三木　由紀子…1

◎事務局通信……事務局　三木　由紀子…2

◎一般社団法人日本自閉症協会第 12 回総会（2025 年度）報告……3

◎２０２５年度加盟団体役員連絡会……5

◎２０２５年度四国ブロック会議（高知県主催）…事務局　田中　輝和…7

◎愛媛県総合教育センター自閉症療育事業……9

◎各地区の活動紹介及び地区情報
新居浜地区活動報告……10
今治地区活動報告……11
松山地区活動報告……17

◎編集後記……松山地区　渡部　和美…23

かたつむり　由来

かたつむりのように、ゆっくりゆっくり歩き、何かあるとすぐからの中にひっこみ、しばらくすると外を伺いながら、また顔を出して歩き始める。その様子が自閉症児に似ていると、番町小学校の頼谷先生がつけてくださいました。

自閉症と云う大きな障害の殻を
しょいながら……。

はじめに

愛媛県自閉症協会　会長　三木　由紀子

皆様、いつもお世話になり、本当にありがとうございます。

最近、子どもの事だけでなく親の事について考える時間が多くなってきました。そのついでに自分の行く末のことも・・・考え始めると不安が先に立ちますが、一日一日できることを少しずつこなしていきたいなと思っています。

先日から実家の片づけを始めました。亡き母が置いていた様々な品々を見ながら、保管するものと、処分するものを分けています。懐かしいものがいろいろと出てきます。様々な料理の覚書や、写真、そして闘病記のようなものまで出てくるとなかなか整理は進みません。苦労してきた母の一生を振り返りつつ、私たちの今後の生活を考えているところです。

さて、今年度は、愛媛で自閉症協会全国大会を開催する年です。愛媛にどれだけの方々が来ていただけるだろうか？私たちにどれだけのことができるだろうか？不安はつきませんが、協力しながら、ひとつひとつ課題をクリアしていければと思っています。私にできることを頑張ってまいりますので、皆様には可能な範囲でのご協力をいただけると嬉しく思います。これから大変かと思いますが、どうかご支援をよろしくお願いいたします。

また改めて、ここまで本会を支えて下さった皆様、そして現在も、各地で本会のためにご尽力下さっている皆様に対して、心よりお礼申し上げます。皆様のご健勝、そして一層のご活躍を祈念いたしますとともに、恐れ入りますが今後とも、愛媛県自閉症協会へのご理解、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

いつも本当にありがとうございます。

事務局通信

令和７年度役員

会長	三木　由紀子
事務局（四国ブロック理事）	田中　輝和
会計	渡邉　多香子
会計監査	田中　節子
	川上　光子
松山地区長（副会長）	渡部　和美
今治地区長（副会長）	山下　小百合
新居浜地区長	三木　由紀子

令和７年度　愛媛県自閉症協会活動報告

会員　７２名　賛助会員　５名（令和７年５月現在）

【総会】　令和７年５月１３日（火）松山市総合福祉センターにて
【レクリエーション活動】各地区にて
【施設見学】　なし
【かたつむり】　令和８年５月発行（松山地区担当）
【ホームページ】準備中
【役員会】　６月６日（教育センターへご挨拶）、７月１５日、１０月２１日、
１２月２４日、１月２６日、３月１８日
【会議等】（一般社団法人）日本自閉症協会総会および役員連絡会、
四国ブロック会議（高知にて）
愛媛難病連、発達支援センター連絡協議会、愛媛県広域特別連携協議会
えひめ障害者就業・生活支援センター連絡会議、
愛媛県障がい者差別解消調整委員会、JDDnet 愛媛総会・定例会、
日本自閉症協会全国大会（愛媛大会）準備

＜お知らせ＞

第２９回日本自閉症協会全国大会　愛媛大会　！！

令和８年度１１月７、８日に全国大会を愛媛で行います。
場所は松山市総合コミュニティセンターです。
皆様のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

一般社団法人日本自閉症協会第12回総会（2025年度）報告

事務局　田中輝和

日時　2025年6月29日（日）13：30～16：00
場所　東京　エッサム神田ホール2号館　5階　大会議室

はじめに、愛媛県のトモニ療育センターの河島淳子先生ご逝去に対し、黙禱が行われた。市川会長からの開会あいさつの後、議長選出が行われた。続いて、議事録署名人が川崎市自閉症協会と横浜市自閉症協会と議長が担当する旨報告が行われ、議案決議に入った。

第1号議案は「2024年度事業報告及び決算について（案）」。各担当から前年度活動報告が行われ、政策部事業、相談事業、理解・啓発事業、啓発デー事業、DVD事業、加盟団体、助成金、全国大会、法人運営、災害対応、表彰、保険事業等について説明がなされた。次年度全国大会については田中が説明を行った。調査研究では、ICD-11への移行を踏まえた発達障害者支援の在り方調査を実施し、会員数について223名の減少があったこと、広報部からは「かがやき2024」を1回発刊し、「かがやき2024」と「いとしご203号」の合併号としたこと、呼称検討委員会の立ち上げ・検討、ASJ報告等が行われた。決算報告については、事務局の樋口氏から決算報告が行われた後、監査報告が行われ、監事の伊藤氏から監査報告書が読み上げられた。審議の結果、賛成多数で原案は承認された。

第2号議案の「理事及び監事承認について」は、「理事・監事候補者」の説明が行われた。質疑応答ののち、審議の結果、賛成多数で原案は承認された。

報告事項では、「2025年度事業計画および予算について」が報告され、計画は市川理事長から、予算は事務局の樋口氏から説明された。また、「規程等の見直し」が報告され、「相談役、顧問委嘱規程」について、委嘱対象の明確化、任期の廃止等の改正について説明がなされ、「給付監査委員会運営細則」の改正について、説明がなされた。さらに、「2025年度法人スケジュール」についても報告がなされた。

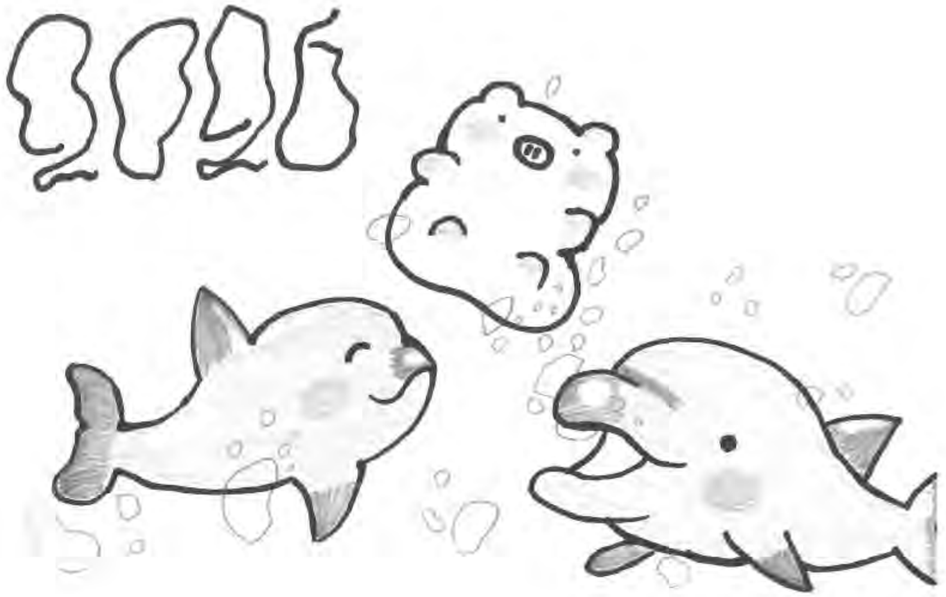
検討事項として、「通称『日本オーティズム協会』の使用について」の市川理事長から報告があり、呼称検討委員会の立ち上げから、その経緯について説明がなされた。理事長からは各加盟団体から、ご意見をいただきたい旨の依頼がなされた。

第40回理事会が別室にて開催され、その結果報告が総会会場にて行われ、役員（会長　副会長　常任理事）の改選結果、会長・副会長の挨拶が行われた。

最後にその他として、役員（日詰理事、本田理事、津田理事）から報告事項が行われ、兵庫県自閉症協会の小川理事からは、防災に関する備えのお話があった。事務局からは、韓国のグループBTSのメンバーが韓国の自閉症の支援施設に寄付したことが報じられ、その後日本自閉症協会にも約300件、100万円ほどの寄付がなされたことの報告が行われた。

会議中に、近畿・四国ブロック会議について、和歌山県自閉症協会の大久保常任理事、兵庫県自閉症協会の小川理事と打合せを行い、今後はZoomで打合せを行い、各地区9月ぐらいに開催予定とすることを確認した。

以上を以って、第12回2025年度総会を滞りなく終了した。



2025 年度加盟団体役員連絡会

事務局　田中輝和

日時：2025 年 11 月 22 日（土）13：00～16：40
　　2025 年 11 月 23 日（日）9：30～14：30
会場：エッサム神田２号館５階　大会議室

加盟団体役員連絡会に出席した。

はじめに、市川会長より挨拶があり、その後行政説明に移った。行政説明①では文科省特別支援教育調査官の近藤修史氏が、行政説明②では厚労省発達障害対策専門官の西尾大輔氏が、休憩をはさんで、行政説明③ではこども家庭庁の発達障害児支援専門官の今出大輔氏がリモートで、それぞれ説明を行った。近藤調査官によると、今後５年間の目標として、障害のある子どもと障害のない子どもが可能な限り共に過ごすための条件整備と、一人ひとりの教育的ニーズに応じた学びの場の整備を行っていくとのこと。西尾専門官によると、平成 28 年の発達障害者支援法の改正後、第 23 条における「専門的知識を有する人材確保」に関し、警察・裁判所・矯正施設に対する理解促進のための研修実施を促したが、特に裁判所では求刑以上の量刑の判決が発達障害者に対して出たこともあり、さらなる理解の啓発が必要であるとの文書を発出したとのこと。今出調整官からは、「こどもまんなか実行計画 2025」の概要、児発・放デイの実態、強度行動障害を有する者への支援、令和８年度概算要求の概要について、それぞれ説明・質疑応答が行われた。

連絡事項では、次年度の会議予定、呼称検討委員会の進捗状況について説明がなされ、次年度の全国大会については田中が説明を行った。

その日の最後に情報交換会が開催され、田中は佐賀県（前々回全国大会実施）、神奈川県（前回実施）三重県（次々回実施予定）のテーブルに座り、全国大会実施に関する情報交換を行った。具体的には前回実施の神奈川大会の実施状況を中心に情報交換が行われた。

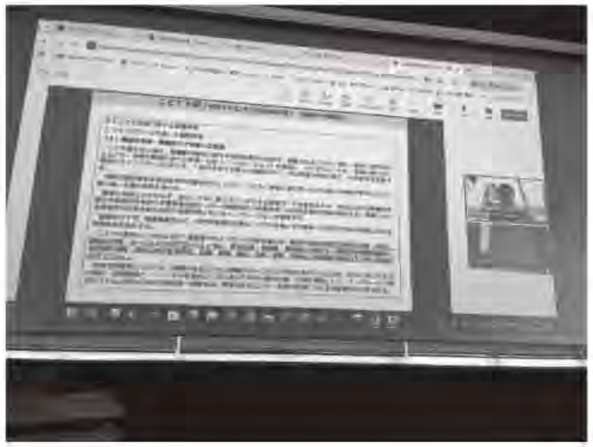
２日目はグループ別意見交換会が行われ、田中は（2）教育・子育てグループに入り、討議に参加した。内容としては、まず「インクルーシブ／個別教育（特別支援教育）」について、特別支援教育コーディネーターの役割認知が低いこと、個別教育も場面によって必要であること、インクルーシブが「共生」であるならばまず「個」を認めるべきである、などの意見が出された。田中からは LD 学会等で発表された学校図書館が中心となっている事例等を報告し、愛媛県での不登校対策の事例も報告した。「5 歳児健診」では、「健診後の対応」が重要であること、そこには地域格差もあるように思えること、などの意見が出された。「早期発見」については、「発見」も大事だが「早期療育」も必要であること、「切れ目のない支援」を目標としてもらうこと、「保護者の受容」に時間がかかること、早期発見の目標が「社会への適応」に偏りすぎないように、などの意見が出された。

グループ別まとめの発表が行われ、「日本自閉症協会が取り組む課題」としては、「成年後見」について、社会全体に法改正の意味を知らせる必要があるとの意見が出されたとのこと。「住まい」について、グループホームは職員が人数・室とも不足しており、環境整備の問題があること、事業所の評価基準について行政に働きかける必要があることなどの意見が出された。「当事者」について、一人ひとりが大切にされていない、ニーズが理解されず無視されている、皆と一緒にいることを強要する支援者がいる、若い親たちを励ましたいと思うし、おやじの会が重要ではないか、Well-being が重要である、等の意見が出された。「世代交代」について、非常に難しい状況であり、新入会員が共働きであったりすることが弊害になっている、当事者への共感性が大事であり、成人当事者も理事に上げていく必要があるのではないか、と意見が出された。また、会員には世代交代や協会運営、ペアレントメンター、啓発デーなど、日本自閉症協会の活動に関する情報提供を行っていくべき、とした。

フリーディスカッションでは、下記のような内容の質疑応答や意見が出された。

- 次年度の総会と役員連絡会の開催形式について、すべて対面でやる場合には各都道府県自閉症協会からの徴収金額アップを図るか、またはどちらかをリモートにするかの案がある。2～3 月に理事会で決めるが、定款が問題となる。
- 「日本オーティズム協会」への呼称変更が決まったのかという確認意見が出され、まだ決まっていないことが確認された。田中から、日本自閉症協会の呼称を変えると、ASD は「自閉スペクトラム症」と訳されているが、「自閉」という言葉が残るので、整合性の問題があるのではないかと問題提起した。

フリーディスカッションを終了し、役員連絡会を滞りなく終了した。



２０２５年度 四国ブロック会議（高知県開催）報告

事務局　田中輝和

一般社団法人日本自閉症協会四国ブロック会議を高知県において開催した。

コロナ禍以降、６年ぶりに四国4県（愛媛県・香川県・徳島県・高知県）が、対面で会を開催することができた。愛媛県からは松山地区会長の渡部和美氏、松山地区の川上光子氏、田中の３名が出席した。田中は、日本自閉症協会の理事として、開催に関わった。

【参加人数】 ２４名（愛媛県3名・香川県4名・徳島県2名・高知県１５名）＊内当事者2名

【内容】

日時 ： 2025年11月30日（日）13：00～16：00 （受付１２：３０）

場所 ： 高知県立ふくし交流プラザ ５階 研修室Ｂ （高知県高知市朝倉戊３７５－１）

内容 ： 12：30～ 受付

13：00～14：30 ブロック会議

① 開会のあいさつ（高知県自閉症協会会長 平野三代子）

② 一般社団法人日本自閉症協会の動向

（一般社団法人日本自閉症協会理事 田中輝和氏）

③ ４県近況報告 （徳島県→香川県→愛媛県→高知県）

④ 2026年度全国大会（愛媛県開催）について

14：30～14：40 休憩

14：40～15：40 講話 テーマ：防災 「イマ、備える、ミライ、守れる」

講師 ：田中 輝和 氏

一般社団法人日本自閉症協会理事・愛媛県自閉症協会事務局

防災士（日本防災士会愛媛県支部所属）

＊障害児者を災害から守る防災ネットを立ち上げた。

15：40～15：55 質問等

15：55～16：00 閉会のあいさつ （高知県自閉症協会副会長 山本千鶴）

【参加者からの意見・感想等】

〇ブロック会議

・「一般社団法人日本自閉症協会」の動向をお聴きし、全国的な活動についてよく分かった。いつも、その時々の社会状況や国にアプローチをしていただき感謝している。

・なかなか日本自閉症協会の動きを直接聞く機会がなかったので、理事のお話興味深かった。

・四国4県の近況報告は、役員の方々の日頃の運営努力がよく分かった。子どもとその家族のために活動をしてきた「親の会」が、５０年以上運営・活動を継続してきたことは大変なことだと思った。

・来年度全国大会に向けてのお話を聞き、愛媛県の田中氏がすでにいろいろと動かれていることに驚いた。いつも全国大会を担当する県や本部の方々は、準備から長い時間をかけて動いてくださっているのだと改めて知った。

・各県の報告を聞く中で、「こんな取り組みもあるのだ」と気づきが多く、今後の活動の参考になった。

・４県とも今後の活動を継続していくのに苦労しそうなところは同じだが、活動内容はそれぞれ違っていてそれぞれが頑張っている様子が分かった。

〇講話 防災「いま、備える、ミライ、守れる」

・「山林火災」「地震」など様々な自然災害等での事前の防災対策・避難準備・日頃の人との交流や情報を得る手段等、何度か話を聞く機会があったが、最近の災害時の被災された方々の状況をお聞きして実際に繰り返し避難訓練することが大切だと思った。それでも、なかなか困難な状況になってしまうのだろうと感じた。

・改めて震災の恐ろしさを認識するとともに、避難所生活における課題について学ぶことができた。支援を必要とする方々のために、平時から私たちにできる備えを進めておく重要性を再認識した。

・防災は、普段つい後回しにしてしまいがちだが、今回のお話をきっかけに、身近なところから準備していこうと思った。防災に対する意識の持ち方や日頃の備えの大切さについて改めて考えるきっかけになった。

・防災というこれからの参考になる話題が多くとても参考となった。

印象に残ったことは、〇四国は孤立する 〇ボランティアは信頼できる人にお願いする 〇福祉避難所は、当初、数十ケ所予定されていたのに開設されたのは4ケ所だった 〇発達障害者の自助・共助のページ全ての内容（環境の変化への適応が難しいので、見通しを聞いたりして、必要な情報を得る。刺激的な映像は見ないようにする。炊き出しなど、手伝えることは一緒にやる等）

・改めて防災意識を高めて、その時に備えないとと思った。

〇会に参加して

・各県の近況報告、情報交換ができ、とても有意義な時間となった。

・香川県会長による「ヘルプマーク」をあしらった自作Ｔシャツは、啓発活動にも活用できる優れたアイデアだととても感心した。

・四国ブロック会議は、本来は２年に１度の開催であるが、今回、久しぶりに顔を合わせて会議ができ、やはり直接会うことの良さを改めて実感した。

・情報の共有等、有意義な会だった。こじんまりと、四国４県で今後ともつながっていきましょう。

・対面での会は、実感があって良いと思った。息子も小旅行のようで楽しめたようである。私も勉強になった。

・大変有意義な会が久々にできたと感じている。

※高知県自閉症協会作成の「２０２５年度 四国ブロック会議（高知県開催）報告」参考

愛媛県総合教育センター自閉症療育事業

第３回親子療育教室を開催しました

９月17日（水曜日）に第３回親子教室（先輩保護者の講話及び協議）を開催し、43名の保護者が参加しました。特定非営利活動法人ぷちすてっぷ理事長安原優子氏を講師に迎え、「わたしの子育てスタンダード～迷いながらみつけた”よりどころ”～」と題して講演していただきました。先輩保護者としての経験や相談支援専門員としての視点などから、具体的な事例を挙げながら分かりやすくお話いただきました。また、協議では、作成したエコマップ（今つながっている人・機関）をもとに、保護者同士で情報交換を行い、時間いっぱい熱心に話し合う姿が見られました。参加した保護者からは、「子どもが将来好きなことを選べる環境を作っていきたい」「これからの子育てに役立てていきたい」などの感想があり、充実した講演会になりました。　（愛媛県総合教育センターHPより）

新居浜地区　活動報告

新居浜市心身障害者(児)連合会の主催する体育大会に、所属団体の一員として参加いたしました。

１０月２６日（日）新居浜市総合福祉センター（ふれあいプラザ）で体育大会を行いました。新居浜市の障がい者団体の集まりである心身障害者(児)団体連合会が主催する行事で多くの方々にご協賛をいただいて開催いたしました。市長さん、社協会長さん、市議会の皆様にもご出席いただきました。センター内のアリーナでの開催ということもあり、お天気の心配はしなくてよく、またバリアフリーの環境の中、通訳等支援ボランティアさん方のご協力もいただいて、とても楽しい有意義な行事になりました。参加して下さった皆様、ありがとうございました。

＜愛媛県自閉症協会の現在までのあゆみ＞

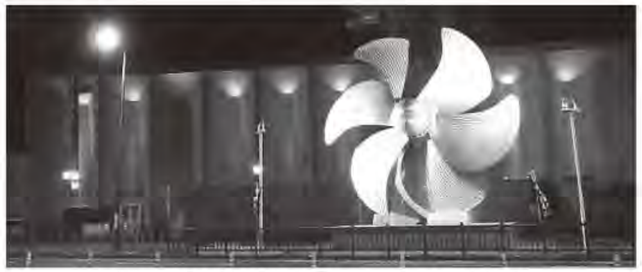
１９７２年（S47）愛媛県自閉症児親の会　発足
１９７６年（S51）情報誌「かたつむり」発行開始
１９８９年（H1）「日本自閉症協会」が社団法人の認可を受けたのに伴い、「社団法人日本自閉症協会愛媛県支部」となる
２００８年（H20）「愛媛県自閉症協会」と名称を変更する
（組織改革により、「社団法人日本自閉症協会」の加盟団体となったため）

今治地区　令和７年度活動報告

定例会を中心に燧風苑喫茶コーナー運営や、食事会、施設見学等を実施しました。

今治地区総会	令和７年 ５月28日	今治市総合福祉センター
定例会	令和７年 ７月30日 令和７年 ９月17日 令和７年12月10日 令和８年 １月21日 令和８年 ３月11日	今治 NPO サポートセンター 遊漁菜　平翁 今治国際ホテル 今治 NPO サポートセンター 今治 NPO サポートセンター
食事会	令和７年 ９月17日 令和７年 12月10日	遊漁菜　平翁 今治国際ホテル
施設見学	令和７年７月 ２日 令和７年11月19日	共同生活援助　スマイリーハウス 障害者施設　きくま
燧風苑 就労支援	通年	燧風苑
発達障がい支援連絡会	令和７年４月16日 ６月18日　７月10日 ８月20日 10月15日 11月26日12月17日 令和８年１月28日 ２月18日	今治市総合福祉センター
発達障がい支援連絡会主催 ・保護者座談会 ・障がい理解のためのセミナー	令和７年６月28日 令和７年12月８日 令和８年２月４日 令和７年８月９日	今治市総合福祉センター
世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間　ブルーライトアップ依頼	令和 ７ 年 ４ 月２日～ ４月８日	今治市公会堂 今治国際ホテル

<今治地区総会>



<今治市公会堂のブルーライトアップ>

今治地区　活動報告（例会・食事会）

令和７年度はNPOサポートセンターでの例会に加え、食事会を兼ねた例会も開催しました。自閉症の子どもを持つ親同士だからこそ話せる事、悩み、共感できること‥など、貴重な情報交換の場となっており、会員同士の心のよりどころになれればいいなと思っています。

～ 例会・食事会（遊魚菜平翁）令和７年９月17日 ～

・「ひらお」で、美味しいランチを食べながら、近況報告、情報交換を行いました。
・新しい会員さんも参加してくださり、いろいろお話ができ嬉しく思いました。
・これまでの子育ての中で、この時期にこういう支援があってよかった、または、こういう支援が欲しかったなど、次世代へ向けて福祉関係への要望等も話し合いました。

～ 例会・忘年会（今治国際ホテル 天空のランチビュッフェ）令和７年12月10日 ～

・クリスマス気分いっぱいの今治国際ホテルの最上階で、瀬戸内海や今治の景色を臨みながら、バイキングをお腹いっぱいいただきました。
・子どものこと、親のこと、将来の生活する場所のことなど、悩みは尽きません。その中でも、生活の中に、楽しみを見つけることが大事だと思いました。

今治地区　活動報告（施設見学　グループホーム）

共同生活援助「スマイリーハウス」　令和７年７月20日

＊「スマイリーハウス」は、合同会社発達の木が運営されています。

今治市菊間町にあるグループホームを、男性用と女性用の２棟、見学させていただきました。入所者様それぞれのペースに合わせて、「その人らしく、地域でゆったりと過ごせる温かく笑顔あふれる家」というのがコンセプトだそうで、家庭的な雰囲気で、優しい感じのグループホームでした。

ご飯も手作りで、Wi-Fi 完備使い放題は、魅力的でした。また、夜間もスタッフが巡回してくださるとのことで、緊急な時に安心だと、思いました。

今治地区　活動報告（施設見学　グループホーム）

障害者施設「きくま」　令和７年11月19日

※「きくま」は社会福祉法人名石会が運営されています。

今治市菊間町にある共同生活援助（日中サービス支援型）のグループホームを見学させていただきました。今回の見学は、遠く島から参加してくれた会員さんもいて嬉しく思いました。

入居者様全ての居室にベット、クローゼット、洗面台が設置されていました。また、入居者様に合わせ、浴槽のないシャワーのみの浴室がありました。

スタッフさんは、できないことを手伝ってくれるというスタンスでその場に合った支援をしてくださっているようです。食堂では、食事の他に、レクレーションをしたり、テレビを見たり、メンバー同士が交流する場となっていました。夜中も、見守りのスタッフさんが、１階と２階に１人ずついて、10 時、12 時、４時と３回、起こさないように見守ってくださっているそうで安心です。

今治地区　活動報告（燧風苑就労体験実習）

平成 16 年より、今治市火葬場「燧風苑」喫茶コーナーの開店準備や掃除を、土、日、祝日は 5 名の会員が家族と、平日は市内の生活介護事業所「はぴふる」と「にじいろ」が支援員と実習しており、令和 6 年度は年間延べ 293 日、790 人が就労体験をしました。写真は会員の実習風景で、一人ひとりの特性に合わせたスケジュールや手順書を利用して、その日の状態に合わせて行っています。

<お菓子の棚だし>

<テーブル拭き>

<椅子拭き>

<食器洗い>

<注文書の準備>

<ワゴン拭き>

<実習日誌に記入>

<台ふき片付け>

<Y さんの手順書>

今治地区　活動報告（燧風苑就労体験実習・事業所）

生活介護事業所「にじいろ」

（感想）燧風苑の掃除に行くことを楽しみにし、「燧風苑に行けますように」と言いながら内職活動に取り組んでいる利用者さんもいて、モチベーションアップに繋がっているように感じます。一人ひとりの特性を生かし「出来る事を頑張る！」という気持ちで支援員は見守っている状態です。毎回スムーズにいくことはありません。急に大きな声を発したりパニックになることもあります。その日やその時の気分で手がとまったり全く掃除が出来なかったりすることもあります。支援員の声掛けや介助で一緒に行ったり、周りの利用者さんが手伝ってくれたりし、4 人の利用者さんと支援員が協力し合いながら、与えられた仕事を最後まで取り組んでいます。施設外活動はこの掃除のみなので、一人でも多く参加できる様に、今後も支援を続けていきたいと思います。

<床拭き>

<窓拭き>

<桟拭き>

<お盆拭き>

<掃除機かけ>

生活介護事業所「はぴふる」

（感想）作業項目は多いのですが、利用者さんがそれぞれのスケジュールを用いることで、分担して自立的に作業を進めています。わかりにくかったり工程の多い作業では、手順書を使用する事で、それぞれが指示を待つことなく確認しながら、自立的に動く事ができています。地域に出向いた活動という貴重な場を与えていただき大変感謝しております。

<コロコロ>

<桟の埃取り>

<商品並べ>

<ロールカーテン>

<布巾たたみ>

< 手 順 書 >

松山地区　活動報告

2025年度の活動報告

- 松山地区総会（4月）
- かたつむり発送作業（5月）
- 勉強会＆ランチ会（6月）
- 施設見学（9月）
- 若草福祉まつり（松山総合福祉センター）
  バザー出店（11月）
- 遊友会（余暇活動）
  ☆　BBQ（10月）
  ☆　クリスマス会（12月）
- 内部疾患理事会

～若草福祉まつり2025　バザー出店～

11月8日（土）松山市総合福祉センターで行われた若草福祉まつり2025のバザーに出店しました。このまつり及びバザーは毎年開催されていて毎年参加させて頂いています。少しでも活動費の足しになればとみんなで頑張っています。それに年に一度、他の事業所や団体の様子を見ることができて楽しいです。それがコロナが猛威を振るっている時は中止となり寂しい思いをしました。今、無事に開催され参加できることがありがたいなと思います。

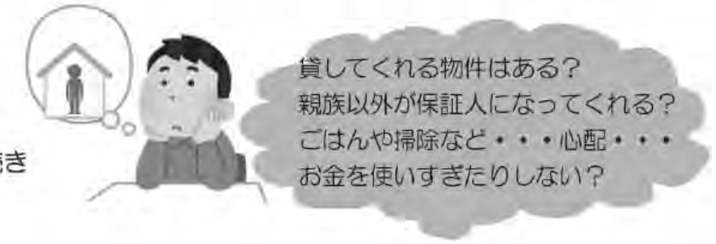
松山地区　活動報告（勉強会＆ランチ）

２０２５年６月２３日(月)、NPO法人 『ささえる』 の山田氏に、地域で暮らすための生活支援について講話をしていただきました。勉強会の後、北斗駅前店でランチをいただきながら、それぞれの将来について情報交換をしました。

NPO法人ささえる
２０１６年設立。高齢者や障がい者等への住まい支援をはじめ、シェアハウスや居場所づくり、就労訓練などの活動を行っています。

ライフサイクルについて考えよう
ライフサイクルごとに、どのようなことが起こるのか
どのような支援が必要になるのか　想像してみましょう

一人暮らしがしたい！
- 住まいを探す
- 保証人や緊急連絡先
- 入居審査や契約
- ライフラインなどの手続き



☆居住（住まい）支援とは？

○住宅セーフティネット制度
高齢者や子育て世帯、障がい者、低所得者など、住宅の確保に配慮が必要な方（住宅確保要配慮者）が住める賃貸住宅を供給することを目的とした制度　（2017年～）

○居住支援法人
配慮が必要な方々へ住まい確保のための支援を行う、県指定の法人
① 配慮の必要な方々が賃貸住居等へ円滑に入退居できるよう、情報提供や相談支援を行う。
② 入居に際して、必要な家賃債務保証や身元保証を行い、スムーズな入居に繋げる。
③ 入居後に起こる様々な生活課題について、必要な生活支援を行う。

入退去支援	物件の情報提供、不動産店への同行、支援ネットワークの形成
	不要品の処分、住居の清掃、家賃債務保証の手続き支援
見守り 安否確認	電話や自宅訪問による見守りや安否確認(24時間体制)
	電話による生活・介護・健康相談
生活支援	公的サービス対象外の生活支援(入退院時の付き添いなど)
身元保証	身寄りのない方などへの身元保証(入居、入退院時)
	金銭管理、成年後見制度への利用支援
死後事務	亡くなった後の火葬・葬儀・納骨、関係機関への連絡
	公共サービスの解約、医療費等の清算、遺言書の作成支援

困っていることに気付ける
助けてほしいと伝えられる

☆つながりをつくるために
1　声を掛け合える
2　頼れる誰かがいる
3　皆がつかえる仕組みがある
4　地域を活かす

居場所づくり
就労体験・就労訓練
支援者の勉強会
・・・etc

松山地区　活動報告（施設見学）

9月11日（木）東温市のとんとこの村　とんとこの里を見学させて頂きました。
とんとこの村はB型作業所でとんとこの里はグループホームです。とんとこの名前の由来は以前に東温市のCMで使っていたキャッチフレーズ「とことん東温市」だそうです。「とことん地域の為に」「とことん障がいを持つ方のために」を理念に活動されています。

見学させて頂いて本当に雰囲気の良い穏やかな所でした。それもスタッフの皆さんがこの理念のもとに頑張られているからだと思います。作業の方も地域としっかり繋がっていて、いろいろと工夫もされているように思いました。

共同生活援助　**とんとこの里**

特定非営利活動法人とんとこ

自信をもって自分らしく生きていく…。
安心して安全に暮らせる住まいを提供いたします。

○特定非営利活動法人とんとこに住まいの場所として「とんとこの里」が出来ました。
○場所はスーパーやコンビニ、銀行やバス停などが歩いて行ける場所にあり、住まわれた皆さまが、快適に安心して過ごせる環境にあります。
○部屋の間取りは各個人がプライバシーを保てる空間になっており、ゆっくりとした自分の時間が過ごせます。

就労継続支援　**とんとこ村**

特定非営利活動法人とんとこ

作業を通して成長を感じる喜びを
ここにいる皆が、体験できる作業場を提供いたします。

作業内容

野菜せんべい
地元産の野菜を使ってせんべいを作り、各産直市等に納品に行きます。イベントにも出品します。

施設外就労
・地元の事業者の方から委託された作業で健康食品に使用する野菜の生産活動を行います。
・また、食品工場で豆腐等を加工する作業を行ないます。

委託作業
地元企業さんの請負作業として穀物の選別、ハーブの選別・袋詰め、機械部品の組み立て等を行なっています。

一日のスケジュール

～9：00　出勤
出勤後、作業服に着替える等を行います。
9：30～　朝礼
あいさつの他、作業の役割分担を行います。
9：45～作業開始
それぞれの作業に取りかかります。
10：45～休憩
11：00～作業
12：00～昼食・休憩
昼食の取り方は現段階では個々の希望に合わせています。
13：00～作業
14：00～休憩
14：15～作業
15：15～作業終了
片づけ、帰宅準備を行います。
15：40～退勤

○事業所の特徴

事業所に通所されている利用者さんは、年齢が幅広い方々が集まっておられますが、お互いに助け合っていこうという気持ちを持たれており、とても穏やかでやさしい雰囲気の中、作業を行なっておられます。

私たちは日々の関わりの中で、将来的な未来を見据えて、それぞれの利用者の方々に寄り添った支援を心がけています。

住所　愛媛県　東温市　南方　４５４
TEL/Fax　089-993-7030

～バーベキュー～

１０月１９日（日）子供たちがとても楽しみにしていた興居島「しまのテーブル」でバーベキューを７家族１２人で行いました。
「しまのテーブル」は、廃校になった泊小学校を改装した店舗で、その中庭でバーベキューをしています。

～クリスマス会～

１２月７日（日）レストラン北斗駅前店にて、クリスマス会を行いました。
１６名の参加で、釜めし御膳をいただきながら近況報告や情報交換もできて、とても楽しい時間を過ごすことができました。今回は、１階のケーキ屋さんで購入したショートケーキ・チョコレートケーキ・モンブランの中から好きなものを選んで、おいしくいただきました。食後のビンゴゲームもなかなかビンゴにならず焦りましたが（笑）ビンゴになると子供たちも嬉しそうにプレゼントをゲットしていました。今年もインフルエンザが猛威をふるっていましたが、皆さん元気で集まれたことがとても嬉しかったです。

編集後記

いつも当協会の活動にご協力いただき、ありがとうございます。
おかげさまで「かたつむり第五十一号」を発行することができました。
令和八年度は愛媛県で日本自閉症協会の全国大会が開催されます。
そこに参加された皆様に「かたつむり」を配布し、愛媛県自閉症協会の活動をお伝えしたいと思っています。
子も親も年齢が上がり、正直しんどいと思う時もありますが、みんなの笑顔に会うと、元気をもらい頑張れます。
最後になりましたが、今回ご協力いただきました皆様、原稿をお寄せくださった会員の皆様に、心よりお礼を申し上げます。
ありがとうございました。

松山地区　渡部和美

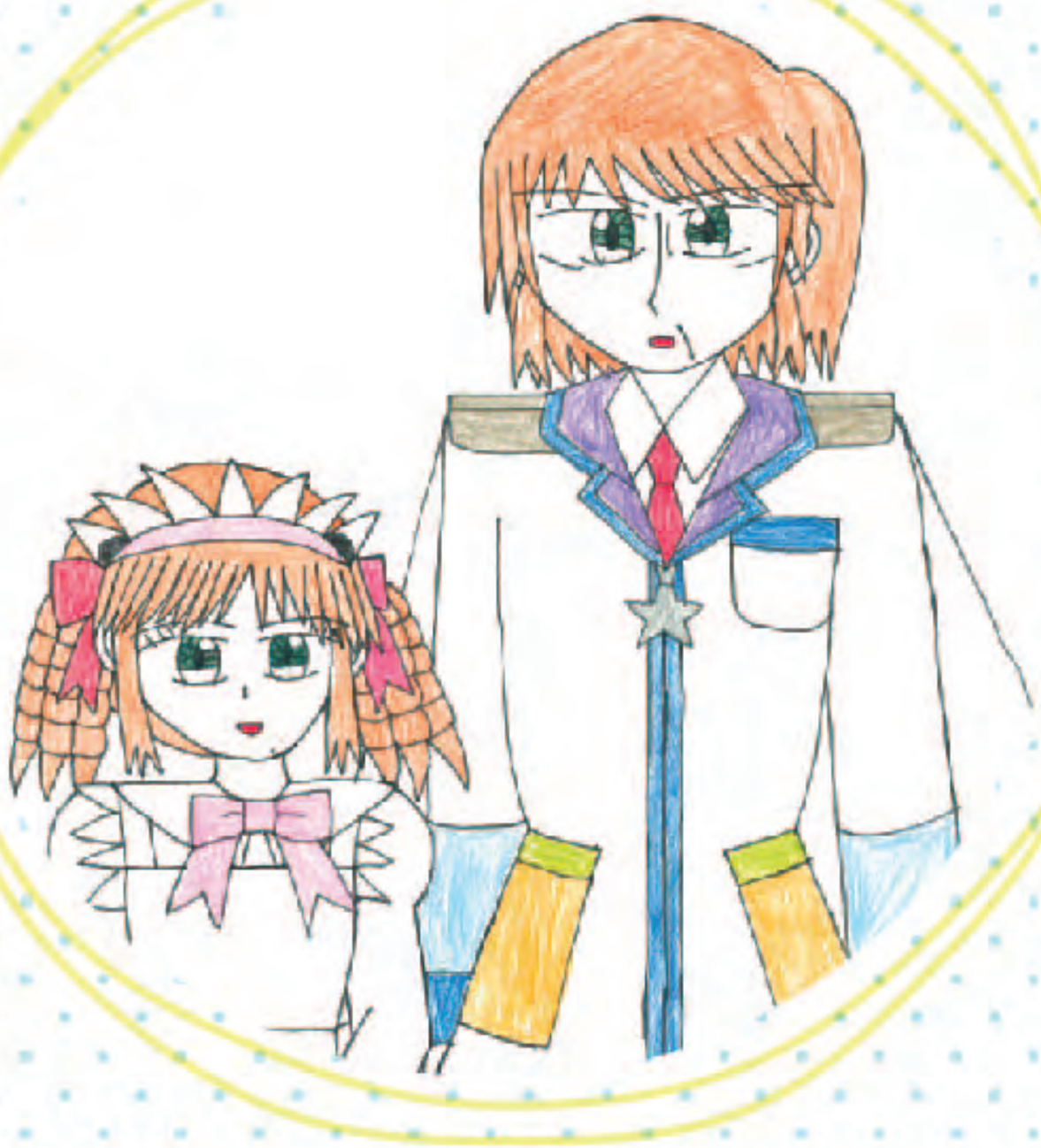
お問い合わせ　愛媛県自閉症協会
autismehime@gmail.com

編　　集　〒790-0821
愛媛県松山市木屋町3丁目12-7
特定非営利活動法人 ぶうしすてむ
☎(089)923-5002

印 刷 所　〒799-1301
愛媛県西条市三芳1839-5
社会福祉法人白鳥会
就労継続支援B型事業所 東予希望の家 つばさ
印刷事業　☎(0898)66-6116

※この会報は赤い羽根共同募金の配布金で発行しています。

日時：2026年11月7日（土）12：00～17：30
11月8日（日） 9：00～15：00
会場：松山市総合コミュニティセンター
（松山市湊町7丁目5・JR松山駅徒歩10分）

申し込み・問い合わせ
日本自閉症協会・愛媛県自閉症協会：詳細は後日HPで発表
申し込みは2026年8月1日～（予定）

主催：一般社団法人日本自閉症協会・愛媛県自閉症協会